

自由が丘駅周辺地区で「交通社会実験」はじまる

自由が丘駅周辺地区の交通環境を改善するための交通社会実験が11月16日から始まりました。

この実験は国土交通省が全国的に行っている、自由が丘での今回の実験は、街づくりを推進する地元の(株)ジェイ・スピリットが、国土交通省からの委託を受けて行っているものです。多くの企業や団体の協力によって実施され、目黒区も区の重要な施策が含まれていることから積極的に支援し、自由が丘住区住民会議や商店街振興組合も協力しています。

それぞれの実験期間中、自由が丘駅周辺地区の歩行者や商業者、荷さばき作業員に対して、意見聴取やアンケート調査をお願いする場合がありますので、積極的にご協力ください。

### おまつり広場

#### みやまえ

10月17日(日)雲ひとつない秋晴れのもと、第28回おまつり広場が開催されました。

この日、来場者・出演者・スタッフ合わせて約二千人が宮前小学校に集い、おまつり広場が地域に根付いたイベントであることを実感しました。

様々な形でご協力ご支援くださいました方々に実行委員会一同心より感謝申し上げます。

横山寿美夫実行委員長

## 自由が丘駅周辺「交通社会実験」の概要と実施予定

### 駅前広場周辺の完全トランジットモール化実験

現行の歩行者天国時間帯に、路線バスとコミュニティーバスを駅前広場へ進入させ、歩行者の安全を確保できるかの実験を行う。  
実験日時 11月23日(祝)、28日(日)15～18時

### 交通バリアフリー対策実験

交通バリアフリー推進のため、ひのき通り(自由が丘デパート前の通り)を特定して、歩道の幅を仮設拡張することにより、歩行者が安全に通行、買い物できる空間となり得るかの実験を行う。  
実験期間 11月16日(火)～29日(月)の2週間

### 路上荷さばき車対策実験

駅南口地区で、荷さばきを商店会と民間企業との共同で行い、共同集配システムの導入で、荷さばき車の駐停車による交通問題を抑制させる効果の検証を行う。  
実験期間 11月～17年1月

### 不法駐輪対策実験

駅周辺地域から放置駐輪車をなくし、歩行者の安全と駅周辺的美観を創出する検討のため、丸井仮設駐輪場への誘導実験を行う。  
実験期間 11月16日(火)～29日(月)の2週間  
☆問合せ先 (株)ジェイ・スピリット TEL 03-3717-4601



「残したい住区の風景」  
まちの表情 シリーズⅣ

緑ヶ丘小学校の校庭で「さつまいも」が収穫されました。「おまつり広場」の秋晴れの朝、1、2、3年生が畑に集まり、まず、芋の蔓を取りのぞき土中をさぐると、きれいな色をした芋が次々と出てきて子ども達は歓声！土の汚れも気にせずキラキラと瞳を輝かせながら「芋掘り」でした。掘り出した大切な収穫物は早速おまつり広場の会場で子供たちにより売られました。作物を育てる体験は、自然に親しみ、人にもやさしい心が育つと思います。子ども達はこの経験を今後の地域活動に生かしてほしいものです。

### ファイナル和田村

7月27日から2泊3日で恒例の和田村キャンプが行われました。13年もの長い間続いた和田村キャンプも今回が最後となりました。和田村には思い出がいっぱいで、閉村式では涙が溢れてしまいました。でも、ここで同じ時を共有できた多くのスタッフ・保護者・先生方・主役の子どもたちとの出会いに感謝すると共に今後も「体感」の場を作り続けて行きたいと思えます。

青少年委員長



### 一滴

「おはようございます。今日お父さんと来たよ。」3歳のR君が事務室をのぞいて挨拶してくれました。「おはよう、元気だ来たね。お友達が待っているよ。」毎朝100人近くの園児を玄関で迎えています。住区内にある保育園として40年になり、ここを巣立った方の中にも現在子育て中の方もいることでしょうか。保育園にお子さんを預けていない方にも利用して頂けるよう地域の親子が保育参加のできる行事もあります。ペットボトルを利用したおもちゃづくりなど親子一緒にやりながら、子育ての情報交換もしています。

保育園では1歳から6歳の幼児期の子どもの成長が見られますし、経験豊かな職員もおりますので、初めての子育てで戸惑うことがあった時、質問にもお答えできると思えますので、ぜひ利用してください。

現在改築工事のため宮前小学校内の仮設園舎ですが、来年の春オープンする新園舎では地域の子育て中の方が利用できる保育室を準備しています。以前は園庭にたくさんの親子が毎日遊びにきていましたが、今度は雨の時や寒い季節でもゆつくり遊べるようになります。どうぞご期待ください。

八雲保育園長 駒場洋子

特集

自由が丘住区内の幼稚園と保育園は今

最近、ベビーカーを押して自由が丘の街を歩く若いお母さんたちを多く見かけます。少子化といわれるなか、大変ほほ笑ましい光景に思います。そんなことから、当住区内にある認可または認証された区立および私立の幼稚園、保育園について特集することにしました。

広報委員会

みどりがおか幼稚園



こなし、緑ヶ丘小学校との交流や東工大での散策など、地域との結びつきも大切にしています。(TEL 3718-6622)

八雲保育園

昭和40年7月に認可、開園した区立保育園。来年春にはすばらしい新園舎がオープンします。広く扇形に張られたガラ

ス戸による採光、バリアフリー化、エレベーターの設置、こどもの調理コーナー、自然を取り入れた園庭やテラスの畑など、未来指向の施設です。来年4月からは0歳児

- ①みどりがおか幼稚園
- ②若草幼稚園
- ③八雲保育園
- ④緑丘保育園
- ⑤ゆらりん自由が丘保育園



若草幼稚園



昭和8年に関根春与初代園長によって開園され、昨年創立70周年を迎えた歴史ある私立幼稚園で、創立者の「和と愛」の理念に基づいた幼児教育の伝統を守り続けています。

緑丘保育園

3歳児から5歳児までの園児150名を預かり、関根幸子園長、高坂和子副園長の他7名の教職員が保育にあたり、延長保育も行っています。「健康・親切・努力」を基本方針に、家庭的な雰囲気の中で集団生活の能力を育てています。中でも男性専任講師の幼児体育指導、裏千家の先生の茶道指導(写真)、英国人の先生の英語指導も受けられるのが特色。また絵画やバレエなどの課外活動にも参加でき、進学指導にも力を入れています。(TEL 3723-2734)



保育も始まり、定員も130名に増えるそうです。なお、駒場洋子園長が書かれた第一面の「一滴」欄をご必読ください。(TEL 3718-4084)



ゆらりん自由が丘保育園



今年7月に開園したばかりの東京都認証保育所で、ライフサポート(株)の運営する新しいスタイルの保育園。0歳児から就学前までの幼児を、一時保育も含めて預っており、佐野富美江園長と10名の保育士が愛情あふれる保育を行っています。ゆったりとして、笑顔と元気があふれる環境の中で、スキンシップを大切にしながら子育てを応援し、ご家族に安心をお届けしたいというのが、この保育園の方針だそうです。(TEL 5731-1488)

7台自転車

年2回行われる地域活動委員会主催のリサイクルセールは地域行事として定着し成果をあげてい



地域交流事業

女神まつり協賛(10月10日・11日)

すっかり恒例となりました。とくに今年は開催時間を5時まで延長したためか、両日で約750名以上の方々が入場されました。昨年より参加団体数も多く、いっそう賑わいを増したのではないかと思います。この行事が地域のコミュニケーションの一助になれば幸いです。



編集後記

広報委員会は住区ニュースを編集・発行するほか、ホームページの作成も担当しています。住区ニュースでは報告を詳細に、ホームページでは行事案内を迅速にお知らせできますので、両方をご覧になり住区会議の活動にご理解いただくとともに、日頃の生活に役立っていただけたら幸いです。

松本敦雄

委員会活動予定(11月-3月)

月	活動	委員会
11	防災訓練(14日)(緑ヶ丘小) 西部地区スポーツ大会(21日)(八雲体育館) 歩こう会(23日) 交通社会実験開始	防災 地域
12	寄せ植え講習会(14日)	地域
1	もちつき(宮前小)	青少年
2	もちつき(緑ヶ丘小) 歩こう会 リサイクルセール(20日)	青少年 地域 地域
3	アロマテラピー講習会 歩こう会	地域 地域

発行 自由が丘住区住民会議  
編集 広報委員会  
電話 (3718) 1195  
メールアドレス jjugak19@plum.plala.or.jp  
パソコンが使える方募集  
(毎月第2木曜 午前10時~12時)